国産LLMの現在地とAIエージェント化におけるタイムラグ

国産LLMの最新動向：ソブリンと特化型戦略



- 思考モデルの出揃いと自社環境対応



ソブリン・オンプレ重視で差別化。

- 3,873億円規模の大型国策投資



2026年度から次世代基盤を推進。

AIエージェント化における海外との差異

18〜22ヶ月のタイムラグが拡大

推論や自律調査機能で顕著な開き。

2024年 1月 2月 3月 2026 4月 6月 10月

AIエージェント化の主要マイルストーンにおける海外と国産の初出時期の差

機能マイルストーン	海外初出	国産初出	導入遅れ
Deep Research（自律調査）	2024年12月	2026年10月	約20〜22ヶ月
ブラウザ・PC自動操作（製品）	2025年1月	2026年8月	約19〜22ヶ月
コーディングエージェント	2025年2月	国産基盤未到達	21ヶ月以上未到達 ⚠



- 複合層・業務適用層での勝機模索



他社モデル連携と特化技術で対応。



Gemini Notebook